

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスMORE諏訪野校		
○保護者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年3月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多数の専門職(保育士、理学療法士など)が支援に関わっている。	支援を行う前に各専門職が意見を出し合い一人一人の課題を考えている。	申し送りや情報共有をさらに強化し、支援内容の共通理解を全体で深め、一貫性を意識していく。
2	保護者のニーズや課題に沿った支援が行えている。	利用者の特性や状況に応じて声掛けや関わり方を柔軟に変えている。	支援計画の見直し時期に限らず児童の様子に合わせて振り返りや見直しを行い、より適切な支援に繋げていく。
3	支援の満足度が高い。	課題の中にできないことや苦手なことだけでなく楽しんで取り組めるものを入れながら本人の意欲を保てるようにしている。	難しいが楽しんで挑戦できる内容を考え、本人たちのできることを増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムが固定化されないように工夫されているか。	担当制で活動が固定化されないように取り組んでいるが、児童の発達段階等を考慮すると似た内容になってしまうことがある。	固定化しないように研修などを通して、楽しくできるを増やせるような活動を立案していく。
2	地域のこどもとの交流や保護者も参加できる情報提供の場を設けることができていない。	参観や親子レクリエーションなど行っているが、年間開催回数が少なく全体が参加することができていない。	参観などの回数を増やし、保護者様が参加できる機会を増やしていく。
3	災害発生時の訓練などについて保護者との情報共有ができていない。	災害時の対応や避難訓練など児童を含め行っているが、保護者様は、SNSのみでの情報共有のため、全体への周知が出来ていなかった。	SNSでの周知だけでなく、送迎時に避難訓練などを行っていることを保護者に伝えていくことを職員間で共有し、モニタリングや契約時にも伝えていくことを徹底する。